

河川及びダム事業の 再評価実施要領細目 第6の規定に基づく報告

《 目 次 》

1)河川事業の報告案件 1
2)河川事業の報告案件の一覧 2

令和3年 8月 2日

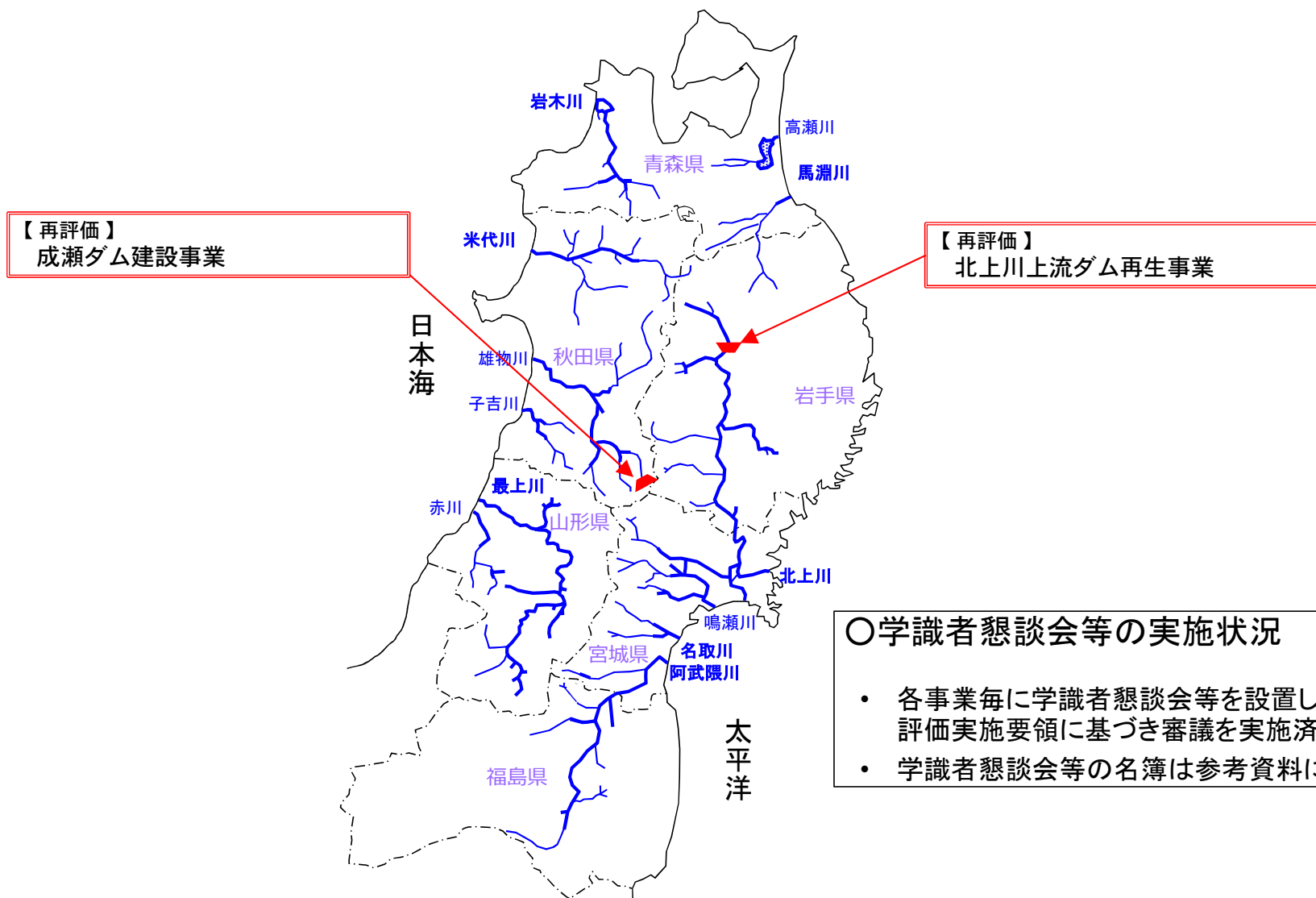
国土交通省 東北地方整備局

1) 河川事業の報告案件

○報告案件の内訳

河川改修事業

- 準備・計画段階で一定期間(3年間)が経過している事業 : 1件 (北上川上流ダム再生)
- 社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業 : 1件 (成瀬ダム)



○学識者懇談会等の実施状況

- 各事業毎に学識者懇談会等を設置しており、再評価・事後評価実施要領に基づき審議を実施済み。
- 学識者懇談会等の名簿は参考資料に掲載

2) 河川事業の報告案件の一覧

河川及びダム事業の再評価実施要領細目 第6 の規定に基づく報告案件一覧

NO.	県名	事業名	前回評価	事業評価の理由	事業期間	事業の進捗状況		総事業費（億円）			費用便益分析（B/C）				審議結果	
						進捗率 （事業費 へ入）	事業の諸元	今回	前回	全体事業		残事業		（分析項目） ①資産データ・評価額の更新 ②治水経済調査マニフの改訂 ③その他（ ）		
										今回	前回	今回	前回			
再評価																
1	岩手	北上川上流ダム再生事業	H30	準備・計画段階で一定期間（3年間）経過	10年 (R1~R10)	4%	・重力式コンクリート・アース複合ダム ・ダム高52m（50m） ・総貯水容量 5,460万m ³ （4,710万m ³ ） ・有効貯水容量4,300万m ³ （3,550万m ³ ） ※（ ）は再生前の諸元	300	300	③④	1.2	1.2	1.2	-	①②	○事業の継続は妥当と判断する。
2	秋田	成瀬ダム建設事業	H28	社会経済情勢の急激な変化（基本計画の変更）	44年 (S58~R8)	55%	・台形CSGダム ・ダム高114.5m ・総貯水容量 7,850万m ³ ・有効貯水容量7,500万m ³	2,230	1,530	①③④	1.2	1.3	1.9	1.6	①②	○事業の継続は妥当と判断する。